

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100435
法人名	㈱ことぶき
事業所名	グループホーム ゆずはなの里
所在地	松山市古三津3丁目17番5号
自己評価作成日	平成22年11月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年11月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりの個性を大切に、その人らしい生活が送れるよう、又、当ホームは2階建ての民家を一部改造(畳 フローリング・階段や廊下に手摺りほか)してグループホームとして利用している為 家庭的な雰囲気や昔からなじみ育った我が家の暮らしのような日々が過ごせるよう応援しています。
又、廊下やホールには、季節感を取り入れて、その季節毎の掲示物を職員と利用者と一緒に作成し展示しています。

地域包括支援センター主催の介護予防教室に、利用者2名、職員2名で参加して地域の人達と「トランプボックス」や「リハビリ体操」を一緒にされた。利用者にとっても好評であったようで、次回も参加を予定されていた。地域祭は、神輿が来てくれて、利用者は玄関前に出て見物をされた。事業所の敬老会には、元職員と日本舞踊のボランティアの方が踊りを披露してくださったり、又、利用者職員で「大きなかぶ」の劇を披露して、楽しい一時を過ごされた。
日々の介護記録は、24時間を時系列で記録できる事業所独自の様式を用いておられ、ご本人の言葉をそのまま記録するように心がけておられる。介護記録内には、一日を通して職員が気付いたことを記入する欄もあり、職員で話し合い、日々のケアに繋げておられる。言葉で表現することが難しい利用者には、問いかけを工夫したり、ご本人が首を振る等の意思表示を大切にしたり、表情を見ながら意向の把握に努めておられる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 (株)ことぶき

(ユニット名) ゆずはなの里

記入者(管理者)

氏名 中川 寿文

評価完了日 22年 11月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 職員会議において管理者は毎回グループホームの方針や目標を説明し、朝・夕の引継ぎ時にホームのあり方を話し合っている。	
			(外部評価) 法人代表は、法人の理念を「愛」と決め、食堂等、職員の目に付く所に掲げ、又、職員会や折りに触れて語り「職員が個々の思いの『愛』を表現」できる「愛の華咲くホーム」を目指しておられる。法人理念のもと、職員で話し合い「個性を大事にし、その人らしい生活を送れるように」「なじみ育った我が家のくらしのような日々を送れるように」と事業所の基本理念を決めて取り組みをすすめておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の町内会に参加している。特に10月は組長さんの指示で配布物を配る当番に当たっているので、町内全戸を回ってコミュニケーションを取っている。又、推進会議にも町内から2～3名の参加があり、入所者との会話もしている。	
			(外部評価) 地域包括支援センター主催の介護予防教室に、利用者2名、職員2名で参加して地域の人達と「トランポピクス」や「リハビリ体操」を一緒にされた。利用者にとっても好評であったようで、次回も参加を予定されていた。地域祭は、神輿が来てくれて、利用者は玄関前に出て見物をされた。事業所の敬老会には、元職員と日本舞踊のボランティアの方が踊りを披露してくださったり、又、利用者と職員で「大きなかぶ」の劇を披露して、楽しい一時を過ごされた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 推進会議などでホームを訪れた地域の人を通して、地域の人についての理解も広まっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 推進会議は二ヶ月に1回行い、利用者や利用者の家族さんにも参加して頂き、意見交換をしてサービス向上に努めている。</p> <p>(外部評価) 会議には、利用者1名と市の担当者や地域包括支援センター、社会福祉協議会、地域の組長、隣接住民の方も参加して下さっている。会議では、事業所の行事報告や「外部評価について」「防災・防火訓練の実施について」「ホーム便りについて」等、議題を決めてすすめておられ、事業所の取り組みを報告したり、ご意見をうかがっておられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 9月頃からは、新型インフルエンザの対応について、松山市のマニュアルを取り入れ実施している。又いろいろな会議に市の職員、地域包括センターの職員の参加を頂いて、意見や助言を取り入れている。</p> <p>(外部評価) 市が示している「インフルエンザ・食中毒マニュアル」や「発生注意報」を参考にして、職員で対策を検討し、予防に努めておられる。運営推進会議時に市の担当者から「職員が地域の行事等に積極的に参加することで地域との関係作りに努めてほしい」とアドバイスをいただき、取り組みをすすめておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束の意味を話し合うことによって、身体拘束の無いケアを実施している。日中は玄関の鍵をかけず夜間のみ、家族さんの要望によって門扉には施錠している。</p> <p>(外部評価) 日中は玄関に施錠はされていない。「職員会議」等で身体拘束の知識について勉強をされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員は講習により虐待について学び、虐待が見過ごされないよう努めています。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 日常生活の状況を家族さんと話し合い、それによっての要望や支援を個々の必要性に応じて活用している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際に利用者家族さんに対してパンフレットや文書等で詳しく説明して同意を得ている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 推進会議の家族さんからの意見を取り入れている。又、玄関に「御意見箱」を設置し、面会などでご家族さんが来られた際に意見や希望等が有る方には、それを利用して書いて頂くなどといったことをしている。 (外部評価) ご家族の来訪時、管理者がご本人の様子を伝えたり、月に一度、利用者個別に手紙で状況を報告されている。事業所は系列のグループホームと合同の「ホームたより」を作成中で、年内には「第1号」をご家族に送付する予定となっていた。運営推進会議の記録をご家族に送付して、ご家族にも会議や行事に参加いただけるよう案内をされているが、それぞれのご都合等もあり、参加いただけるご家族は少ないようだ。	現在、ご家族は管理者に「ざっくばらん」に話してくださるようだが、ケアサービスや運営についての意見は少ないようだ。利用する側であるご家族からの意見は、たいへん貴重であり、事業所のケアサービスの質の向上への取り組みのきっかけにもなるのではないだろうか。ご家族が意見や要望を出しやすいようさらに事業所で工夫できることはないか、ご家族の立場に立って話し合ってみてはどうだろうか。又、運営推進会議についても、ご家族も「参加しやすい会議」となるよう工夫されてみてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月、職員会議を行い、職員一人ひとりが意見などを出し合い、今後は良くするよう努めている。	
			(外部評価) 事業所は、今年度の目標を「自己研鑽に努めること」「研修の積極的参加」と決め、職員が毎月一名交代で外部研修に参加されている。調査訪問日「新しい入浴セミナー」の外部研修に参加されている職員もあった。研修受講後は、毎月の「職員会議」で報告を行い、情報を共有されており、又、「職員会議」では、個々の利用者のケアについて意見を出し合い、話し合われている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 個々の職員の特徴などを把握してその人にあった報酬を出している。勤務体制も個々の特徴を考慮してシフトを組んでいる。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) グループホームに関する文献を常に閲覧が出来て、管理者も常に助言及び勉強会で指導している。今後は外部の研修にも積極的に参加を増やしていきたい。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 当、ゆずはなの里の経営下には北条にゆうかの里等があり、職員の交流や相互訪問なども行い、ナースも行き来してサービス向上に努めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 新規入所者が発生した時には、入所前の状況や、生活サマリーを活用して本人が新しい場所で不安がらないようコミュニケーションを取っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 新規入所の場合、当ホームの理念などを説明して入所者本人の事や要望事項、家族さんの要望などを最初に聞いて対応している。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ケアマネ、職員が一對一で会話及び日常生活と一緒に接してその人に合ったサービスを行っている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 洗濯物の取り入れや個人別の仕分け、庭の草花への水やり、草引き、食事の準備など入所者と職員が行い、暮らしを共にする信頼関係が出来ている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に家族さんとは連絡を取り合い入所者の望む事や希望を相談して実行している。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族さんより情報を提供して頂き、親しい人などの面会なども依頼している。 (外部評価) 「家に帰りたい」とのご本人の希望でご自宅までドライブした際、ご自宅からお気に入りの掛け時計を持ち帰り、居室に掛けている利用者がおられる。ご本人はその後、気分が落ち着かれたようだ。定期的に、ご家族と温泉や外食に出かける方もいる。入居前に住んでいた近所の方が訪ねて来られたこともある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 朝の洗面、口腔ケア等を早起きの入所者が継ぎの入所者に教えたり、新しい入所者が何も分からないで孤立しないような雰囲気が出来ている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所されたり他のホームに行かれても、必要に応じてその行かれたホーム、又は家族さんと連絡や相談をしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入所者とコミュニケーションをとることにより、本心や入居前の環境に近い生活が送れるよう大切にしている物(人形・アクセサリ等)を入居時に持参して頂き、その人らしい生活をして頂いている。 (外部評価) 日々の介護記録は、24時間を時系列で記録できる事業所独自の様式を用いておられ、ご本人の言葉をそのまま記録するように心がけておられる。介護記録内には、一日を通して職員が気付いたことを記入する欄もあり、職員で話し合い、日々のケアに繋げておられる。言葉で表現することが難しい利用者には、問いかけを工夫したり、ご本人が首を振る等の意思表示を大切にしたり、表情を見ながら意向の把握に努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所者さんのお話をよく聞き、メモを取り、それを職員全員が会話やコミュニケーションをとるために活かしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日、個人の生活記録を取り、日々の過ごし方を把握するように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族さんから話をお聞きして、その内容を管理者と職員で検討、ケアマネからのアドバイスを取り入れた介護計画を立てている。又、その介護計画は家族さんにも配布、確認後捺印してもらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、職員で話し合い、ケアマネージャーが作成されている。ケアマネージャーは「本人の思いやご家族の希望」を採り入れた計画作成に努めておられる。モニタリングは、随時、職員と話し合いながらケアマネージャーが行い、半年毎、又は、状態変化時に見直すようになっている。</p>	<p>管理者は、介護計画を職員の担当制にしたり、介護記録に「短期目標」を目に付くように示したりして「職員と介護計画を共有して介護計画に沿ったケアを実践していきたい」と話しておられた。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日の勤務日誌や個人の生活記録を行い、職員間で情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その人らしさを出して頂くために、家族さんとの連絡を密にして、その都度発生する事柄に対して柔軟に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々の育って来られた地域での資源を把握して、安全で豊かな暮らしが出来るよう支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医療機関(樋野クリニック)毎週往診して頂 き、家族さんと連絡とりながら医療を受けている。 又、緊急時には随時の往診やどうするか等の指示によ り適切な医療を受けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人ご家族の希望で、現在は、利用者全員が協力医 療機関の往診を受けておられる。専門医の受診は、職 員が同行させているが、状態変化時の受診はご家族に も来て頂き、医師の話を聞いていただくようにされて いる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の日々の様子や状況変化など、その都度看護師 に相談して、状況によっては看護師が医師に連絡を取 り適切な支援を行っている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所者が病院受診や入院時には、何時も家族さんにも 同行してもらっている。医師との情報交換や相談も家 族さん中心でされていて、同行した職員は日常生活や その原因等の情報提供している。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所のできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に本人や家族さんの要望や希望に添えるように家族 さんと話し合いをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居契約時、事業所の「看取りに関する指針」に沿っ て「本人・家族の希望があれば看取り支援できる」事 を説明しておられるが、現在は、希望するご家族はお られないようだ。</p>	<p>事業所の看取りに関する指針には「ホームの体制がそ の状態に対応できると判断される時には、最期の看取 りまでお付き合いしたい」と記されている。今後、ご 本人の思いを探ったり、ご家族が心配していることや 不安に思っていること等を聞き取ったり、事業所ので きる支援について示しながら、時には、終末期のあり 方について話し合う機会を作ってはどうか。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 職員会議で怪我や発作などの応急手当を勉強している。又、救急車への依頼等についても、職員会議で徹底している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災や地震時の災害時の非難方法や避難場所のマニュアルを作成、地域の人にもそのマニュアルを公表、配布して協力体制を築いている。 (外部評価) 事務所には、消防署への通報マニュアルを貼って、朝礼時等、定期的に通報訓練を行っておられる。消防署のアドバイスを受けて、職員と利用者で地域の避難場所まで歩いてみられた。その際には、車椅子を使用している利用者が通れる通路を確認された。又、玄関灯や門柱灯を朝まで点灯し、防火防止対策に努めておられる。さらに、職員の緊急連絡網を作成された。管理者は、防火管理者の講習を受けておられ、地区の防災訓練時には、職員2名が参加して地震体験車に乗ったり、煙体験等をされた。近所の組長の方には「何かの時にはすぐに駆けつける」と言っていたいっている。	さらに、消防署からは「事業所で避難訓練を行い、気付いた事を相談して欲しい」とアドバイスをいただいた。利用者や職員のさらなる安全・安心のためにも、事業所で自主的に、いろいろな場面を想定した避難訓練に取り組み、自主防災にも努めていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者さんの個人情報や漏らさないよう情報内容を他言しないよう徹底している。又、個人の病気の内容や薬についても外部に漏れないよう徹底している。 (外部評価) 事業所は「利用者のペースに合わせたゆったりとした関わり」を大切にされている。目薬を点すことを嫌がる利用者にも、職員は無理強いせず、時間を少しおいて対応されている様子うかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日ごろから何がしたいか、何処に出かけたいかを問いかけ、本人の希望を伺うようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事時間など、時間の掛かる入所者にはその人のペースに合わせて本人が気の済むまで食事をとってもらっている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 季節に合った服装や髪型を伝えたり、本人が自分で毛染めをしたい時は一緒に手伝っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) テーブル席が空いている時には職員も一緒に食事をすする。又、食事時間はTVを消してCDによる音楽(童謡・クラシック・演歌等)を流している。口ずさみながら食事を取っている方もおられる。	「食事を楽しむことのできる支援」について、事業所で工夫できることはないだろうか。食事作り一連の流れについて、利用者個々のできることで、できそうなことを細かくアセスメントされ、利用者の力を活かせるような場面や機会を作っていくか。利用者のお好きなものを利用者と一緒に作ったり、食べたりする機会を増やすことはできないだろうか。ご家族の意見や外部者の意見等も聞きながら事業所の理念にも立ち戻り、話し合われてみてほしい。
			(外部評価) 食事は業者から調理されたものが、届くようになっており、事業所では、ご飯と汁物を作っておられる。又、利用者個々に応じて、ミキサー食や刻み食にされている。「適温と見た目のおいしさ」に配慮して、温め直したり盛り付けに気を付けておられる。職員は、介助の必要な利用者の隣に座って、本人がご自分で食べることができるよう手助けされたり、利用者の後ろに立って「 が残ってますよ」と声掛けしながら、食器の位置を替えたりされていた。職員は、後で持参のお弁当を食べておられた。利用者は、おしぼりを巻いたりエプロンたたみをされている。おやつに、ホットケーキ等を手作りされることもある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスを考え、配食サービスにて一日600～800Kcalにしている。水分量も一日の一人ひとりの量を確認して記録している。水分でむせ込む入所者にはトロミをつけて水分摂取を支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 朝と夜の洗面の時に声掛け指導をしている。歯磨きの出来ない入所者は濡れたガーゼで口腔内を拭いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄記録をチェックして、トイレ誘導をする事によって自立に向けている。 (外部評価) 日中は、個々の排泄パターンに沿って、声掛けを行い、トイレでの排泄を支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) お天気の良い日には近くの公園に散歩する。食事野菜や魚中心のメニューに心掛けている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 介助のいない入居者には、本人の希望する日時に入浴してもらっている。介助のいる方には大体の曜日や時間を決めて入浴されている。又、自分で出来る事、着脱や洗身は声掛けをしている。 (外部評価) 入浴は週2回で、曜日を決めて支援されている。職員の見守りのもと2~3日に1回、日中や夕食後等、ご本人の希望に応じて入浴する利用者もいる。介護度が重度の利用者は、職員が二人で介助して浴槽で温まれるように支援されている。菖蒲湯や柚子湯も楽しまれている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 昼夜逆転しないよう生活支援をして、夜間足音などが気になって寝れない人には訪室時に気をつけゆっくり歩行し起こさないよう熟睡出来るように心掛けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 内服薬が変更された時は個人別ファイルと、薬一覧表に薬の説明書を取りつけ、薬の副作用などもナースに確認して内服薬の把握に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 編み物の好きな方には毛糸を買ってきたり、草花の好きな人は庭の花の水やりをしてもらったりしている。又、取り入れた洗濯物をたたんで頂いたり、個人別に仕分けをしてもらっている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ゆうかの里の畑で作っている芋などの、収穫時期には芋掘りなどに出かけている。	
			(外部評価) 通院帰りに希望に応じてドライブされたり、衣料品店で買い物することもある。調査訪問日の午後に「散歩に行きたい」と利用者から希望があり、職員と出かけて行かれ、笑顔で戻って来られた利用者の様子が見られた。管理者は「初めは5分程度の散歩だったが、今は20分程歩けるようになった」と話しておられた。利用者の希望で、庭の一角に野菜を植えられており、水やりや草抜きをされる利用者もいる。	春に、初めて利用者全員でお花見に出かけられた。利用者は喜ばれ「生き生きとした表情」が見られたようだ。利用者の体調等も見ながら、個々が外出して楽しむような機会を増やしていかれてほしい。利用者の希望等も引き出しながら、さらに利用者の生活の拡がりに向けた支援を重ねていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭感覚のある入居者にはお金の使い方の良い方法をアドバイスしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 自分で電話番号をダイヤル出来ない人には職員が番号を押し会話ができるようにしている。字が書ける人にはハガキを出したりして家族とコミュニケーションが取れるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>廊下、ホールなど入所者さんが集まる場所には、その季節に合った掲示物を作って掲示し、季節感を採り入れたりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所は、民家を改装したグループホームで、床の間や欄間、神棚、ふすま、障子、縁側もあり、利用者にとって「我が家」のような懐かしさがある雰囲気である。廊下や階段には、手すりが取り付けられており、階段を自由に上がり降りする利用者もおられ、職員は見守っておられた。玄関には、観葉植物が置かれ、廊下にはお花見や行事等の写真が飾られていた。食堂には、テレビがあり、壁には職員手作りのカレンダーを掛けておられた。2階には、4つの居室があり、トイレがある。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりの居室を設けているので独りになれる時間も取れホールや、ソファの有る部屋では入所者さんたちがお話しをされたりして思い思いに過ごされている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人の気に入っている人形、アクセサリ、写真などは本人の手の届く場所、分かる場所に置いておく。又、気に入った物が発生した場合は家族さんに連絡、持って来て頂く。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室でテレビを見たり、編み物をされている利用者がおられ、出来上がったセーターを見せていただいた。職員も編み物を教えていただくことがあるようだ。又、ご自分で洗濯をされ、室内に干しておられる方も見られた。タンスや掛け時計を持ち込まれたり、壁に習字の作品を貼っている方もあった。毎日、居室でゆっくりと新聞を読む利用者もおられる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレの場所が分からない方には「トイレ」と張り紙をしたり、又、自室からトイレまでの床通路に矢印を入れている。併せて歩行時には手すりをしっかり持って歩行するよう声掛けしている。</p>	